

高木復興大臣政務官「いわて・三陸けせん希望ストーリー 2015」
ぶら下がり会見録

(平成27年11月9日(月) 14:50~14:54 於) 有楽町駅前広場)

1. 発言要旨

(問) よろしくお願ひします。今日まわられてみて、震災後、4年半以上も経過しましたがけれども、やはり販路の拡大ということが大きな課題になっておりますでしょうか。

(答) まだ、やはり震災前と比べて7割ぐらいしか販路が回復できていないので、これからやはり2年、3年と新しいステージに入ってくるんだけれども、産業の再生というのが一番大きな課題になってくるのかなと。仕事がないと、やはり地元の人たちが戻って来れなくなるから。

(問) 復興庁の事業を活用されて商品化された商品もありますよね。

(答) 先程も挨拶で話したところなんですけれども、結の場というのを昨年度大船渡で行っていただき、大手企業のいろいろなノウハウを活用して、販路の拡大に役立ててもらおうという議論もできるし、そういうのを含めて、ここの被災地の企業が早く元気を取り戻すように、いろいろと努力していきたいと思います。(記者の皆さんも)何か試飲、試食しましたか。おいしいですよ。

一般の国民の皆さんがこうやって触れて、食べて、目で見ていいなと思って、それがどんどん広がっていくようなことを少しでもやっていきたい。だから、是非続けていってください。

(以 上)